



(題字・野口孝重先生)

発行所 名城大学電気会

名古屋市中白区塩釜一丁目501番地
電話(052)832-1151
名城大学理工学部電気電子工学科内

編集責任者 伊藤 栄

印刷 西濃印刷株式会社



名城大学電気会第44回通常総会のご案内

名城大学電気会会長 伊藤 栄
(I部50年卒)

電気会会員の皆様には、各方面でご活躍のことと深くお慶び申し上げます。また、日頃本電気会の活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年もアメリカのサブプライムローンによる影響が継続し、一部で改善が見られるものの依然として厳しい経済状況が続いています。特に、この中部地区はその影響を大きく受け、景気回復には今しばらくの時間が必要と思われる。一方、政局面では衆議院選挙で民主党が大勝利を収め、今後の政策に期待がかかるところであります。しかし、成長戦略の欠如という評価もあり、経済は依然として回復方向へは向かっておりません。このような状況下、まだまだ厳しい状況が続くものと思われしますが、ものづくりの中核をなすこの地区においては、産官学が協力し、様々な努力をすることでこの難関を突破できるものと信じております。

さて、ここで、昨年度の電気会における活動内容をご紹介します。

1. 理工同窓会、電気会第43回総会 平成21年 6月21日
2. 研究室対向ソフトボール大会支援とOBチーム参加 平成21年 9月 5日
3. 第16回電気会新春懇談会 平成22年 1月16日
4. 卒業研究発表と電気会から聴講 平成22年 2月19日～20日
5. 電気会電気電子工学科卒業式・卒業祝賀会 平成22年 3月19日
6. 役員会、評議委員会開催 1回/月
7. JABEE外部評価者懇談会
8. 名城大学電気会ホームページ更新 随時

特に、第16回電気会新春懇談会においては、大学の先生および役員一同のご尽力により今までにない74人の参加で大盛況となりました。これも皆様のお陰と心から深く感謝しております。そして、そこでは秋の叙勲を受けられた縄田先生の功績をご紹介しますなど、お祝いをさせていただきました。

また、今年度は愛知県立体育館で卒業式が終わった後、大学に戻り卒業証書授与式が行われました。その後で大学生協の体育館1階のグラン亭にて電気会との共催として卒業祝賀会が大盛況に開催されました。卒業生、ゼミナールの先生、電気会会員との思い出が残り、大変好評でした。今後も継続して行きたいと考えております。名城大学電気会のホームページに、その大盛況ぶりが掲載されていますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。

昨年度立上げました電気会のホームページでは、電気会

の様々な活動、行事を詳細に写真等で情報を発信できるようになりました。電気会の活動へ参加頂きホームページの写真に一人でも多くの皆様が掲載されることを望みます。また、会員の中で、公的に受賞されるなど、活躍されている方がお見えでしたら是非ご紹介願います。このようなトピックスを数多く掲載していきたいと考えています。

電気会会誌については、現在、隔年(2年に1回)で発行しています。宛先がわかる会員全員約7,000部を郵送しますと費用が多く掛ります。したがって、会誌をホームページに載せる、または、電子メールで転送することを検討しています。会員の皆様でパソコン等を利用されている方は、ぜひ電気会へ連絡をお願い致します。

電気会の行事とは直接関係ありませんが、皆様は9月に開催される名城DAYをご存知でしょうか。この行事は、一般の方が参加できます。特に名古屋近辺にお住まいの方々は、色々な催し物があり大変楽しい1日が過ごせると思いますので、ぜひ参加されることをお勧めいたします。私は3年連続で参加しています。著名人の講演会があり、お昼の学食も無料で食べられます。また、おみやげ・お酒・野菜等が70%以下で購入することもでき大変満足して帰りました。

さて、本電気会は、名城大学電気電子工学科を卒業された皆様で、構成されています。このため、電気電子関連の企業にお勤めの方が多いと推察いたします。一般に、電気電子技術は、電力関連産業、携帯電話・インターネットを始めとする通信関連産業や情報サービス業、愛知の代表的産業である工作機械や自動車産業など、幅広い産業を支える技術であり、また、進化が激しい技術であると考えております。よって、常に新しい努力・チャレンジが必要です。

しかし、最近では、技術が高度化、複雑化する傾向にあり、1企業のみでは技術革新が困難な状況と言われています。そこで、産・官・学が、互いに協力して技術開発や研究を行う、すなわち共同研究の必要性が高まっています。本電気会のさまざまな行事に参加頂き、交流を深める中で、共同研究への契機や新しい企画・商談が生まれることを期待します。是非、本電気会を活用して頂ければ幸いです。

最後に、皆様方のご健康と、今後のさらなるご活躍を祈念いたします。また、今後とも名城大学および電気会を盛り立てて下さいますようお願い致します。

校友会との役員改選等の連携を検討しまして、第44回通常総会は、今年も昨年度と同じ時期の6月20日(日)に開催することになりました。是非出席して頂きますようお願い申し上げます。

名城大学電気会第44回通常総会開催要領

日時 平成22年 6月20日(日)
受付: AM 9:00~
開始: AM 9:30~10:50
受付でご芳名を記帳願います。

場所 名城大学 共通講義棟南館 S401室

- 議題: 1. 平成21年度経過報告
2. 平成21年会計報告、監査報告
3. 電気会役員、評議員改選
4. 平成22年度事業計画及び予算案
5. その他



電気電子工学科長あいさつ

電気電子工学科長 大江 俊美

会員の皆様におかれましては、ますます御健勝にて御活躍のことと存じます。また、平素、皆様には電気電子工学科発展のために格別の御援助を賜り、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

さてこの3月で、学科長という大役を仰せつかってまる4年（平成18年4月～平成22年3月）たち、任期満了にて学科長を退任することとなりました。在任中は、一方ならぬご支援、ご鞭撻を賜りましたことに対し厚く御礼申し上げます。4月からは多和田昌弘先生が学科長に着任されます。どうぞ宜しく願います。

会誌の発行が隔年となりましたので、前回の会誌でご報告した以降のことについて時間的に少し古い情報もありますが、以下学科の近況をお知らせしたいと思います。

・学科の近況

1. 4名の教員が退職されました

平成21年3月には、池田 晋先生と鳥居 甫吉先生が、平成22年3月には河村 一先生と米澤彰賢先生が退職されました。これら4名の先生は、いずれも本学科出身の卒業生であり、卒業生の教員が少なくなっていくことは寂しいかぎりです。これで、卒業生の教員は、学科教員全18名の内、河村英昭先生、村田英一先生と私の3名となりました。今後、教員人事を進める際に、卒業生教員の採用を真剣に考慮すべきものと考えております。退職された4名の先生方は、名城大学理工学部電気電子工学科の

草創期を支えて現在の姿にまで発展させてくださった功労者であります。深く感謝申し上げますと共に、どうか健康に留意され、これからも学外から本学科発展のためにご支援、ご鞭撻賜りますようお願いしたいと思います。

2. 4名の新任教員をお迎えしました

昨年4月から新任の教授として伊藤昌文先生と児玉哲司先生をお迎えしました。さらに、本年4月から新任の准教授として飯岡大輔先生と堀田一弘先生をお迎えしました。伊藤先生と児玉先生については、本会誌に紹介記事が掲載されていますのでそちらをご覧ください。

飯岡大輔氏は、平成16年3月に名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程電気工学専攻を修了し、同時に論文題目「発電機を有する需要家における限流器導入効果に関する研究」により、博士（工学）の学位を取得されています。同年4月に名古屋大学大学院工学研究科電子情報システム専攻助手として採用され、平成19年4月に助教に昇任し、現在に至っています。同氏は「配電系統および需要家系統への限流器導入効果に関する研究」を中心として、「分散型電源が導入された配電系統や需要家内次世代受配電システムの電力品質向上に関する研究」に取り組んでいます。これらの研究は初期の段階では計算機シミュレーションを主体とした研究でしたが、現在は太陽光や風力などの自然エネルギーを利用する分散型電源が導入された次世代受配電システムの縮小モデルを同氏自身が設計・構築し、実験的アプローチにも精力的に取り組んでいます。次世代電力供給システムの電力品質に関して多くの成果が

研究室名	資格		氏名	居室	内線
電気エネルギー	教授	1	河村 英昭	2-104	5079
	教授	2	大野 英之	2-138	5083
	教授	3	山中 三四郎	2-103	5078
	准教授	4	飯岡 大輔	2-102	5077
制御システム	教授	5	辰野 恭市	2-211	5090
	准教授	6	山ノ井 基臣	2-212	5082
	准教授	7	林 和彦	2-136	5081
	准教授	8	堀田 一弘	2-238	5092
電気電子材料	教授	9	清水 教之	2-B01東	5072
	教授	10	平松 美根男	2-B04	5075
	准教授	11	村本 裕二	2-B01西	5071
電子応用	教授	12	大江 俊美	2-215	5095
	教授	13	多和田 昌弘	2-314	5087
	教授	14	児玉 哲司	2-216	5096
	教授	15	伊藤 昌文	2-313	5085
情報・通信	教授	16	都竹 愛一郎	2-209-3	5088
	教授	17	中條 渉	2-209-1	5375
	助教	18	村田 英一	2-135	5109
学科事務室	事務員		安保・中根	2-224	5070

得られており、これらの成果は国内外の学術雑誌はむろんのこと、国際会議などにも積極的に発表し、高い評価を得ています。

堀田一弘氏は、平成14年3月に埼玉大学大学院理工学研究科情報数理学専攻博士後期課程を修了し、同時に論文題目「特徴点選択による顔検出の汎化能力向上に関する研究」により、博士(工学)の学位を取得されています。同年4月に電気通信大学電気通信学部助手として採用され、平成19年4月に同助教に昇任し、現在に至っています。同氏の研究は、Log-Polar画像の高次局所自己相関特徴を用いた大きさに不変な顔画像の認識に関する事に始まりますが、一連の研究は主として特徴不変量などを用いた数理工学的パターン認識に係るもので、広範の応用を持つ本質的正統的な研究です。最近の研究で、局所カーネルの統合により、従

来極めて困難であった部分的な隠れに対応できる認識法を実現したことは特筆すべきものです。IEEE、電子情報通信学会、情報処理学会などの論文査読委員、論文誌編集委員、国際会議の組織委員、運営委員などを務めるなど極めて積極的に生産的な気鋭の若手研究者として高い評価を得ています。

電気電子工学科としては、伊藤先生と児玉先生は「電子応用研究室」、飯岡先生は「電気エネルギー研究室」、堀田先生は「制御システム研究室」のメンバーとして教育、研究にご活躍いただいております。飯岡先生、堀田先生は30歳代の若手の先生であり、学科内に新しい風を吹き込んで下さるものと期待しております。

以上のように、ここ2年間で大幅な人事の移動等がありましたので、ここで改めて電気電子工学科の「研究室体制」を別表にて紹介いたし

ます。大学へお越しの際には、是非お気軽に研究室にお立ち寄り頂き、近況等をお聞かせ頂ければ幸いです。各先生の内線番号も記載しましたので、何かあればご連絡ください。名城大学の代表電話番号は☎ 052-832-1151 です。

3. JABEEの継続審査結果は、「認定可」でした

先回の会報で、JABEEの継続審査を受けなければならないことを報告しておりました。その結果について報告いたします。平成21年11月8、9、10日の3日間にわたって継続審査を受診しました。その結果、一次審査報告書によれば、全ての審査項目についてA or Cの判定で、向こう6年間の認定を受けることができました。正式には、本年6月頃に最終の認定報告書が届くことになっております。(判定はA、C、Wの3段階があり、Wの判定が1項目でもあると中間審査の対象となる。)今回、理工学部の中で5学科が審査を受けましたが、6年間の認定を受けたのは電気電子工学科だけでした。会員の皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。これらの取り組みは、大学内で行う教育現場のみで解決、処理できるものではありません。卒業生の社会での活躍状況、多くの電気会会員の皆様方からの学校教育に対する建設的な意見などを取り入れ、より良い教育環境を作る必要があります。これを機会に、今後とも今まで以上のご協力、ご支援を賜りたく存じます。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。電気電子工学科の全教員が総力を挙げて、教育改革・改善に取り組んでおります。会員の皆様のご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

4. 縄田正人先生 叙勲 「瑞宝中綬賞」

すでにご存じのことと思われませんが、元本学科教授(名誉教授)縄田正人先生は、平成21年11月9日、「瑞宝中綬賞」を受勲されました。先生の長年の苦勞が報われたのではないでしょ

うか。先生への榮譽は勿論のことですが、電気電子工学科にとっても非常に名誉なことこんな嬉しいことはありません。縄田先生は、名城大学理工学部電気電子工学科草創期からご活躍なされ、本学科の基礎を築いてくださった大功勞者であります。心からお祝い申し上げたいと思います。ここで、推薦書より抜粋して先生のご略歴とご功績の一端をご紹介します。いただきます。

縄田正人先生は、昭和5年3月30日に生まれ、昭和30年3月名城大学理工学部一部電気工学科を卒業。名城大学助手、講師、助教授、昭和49年3月工学博士(名古屋大学)の学位取得を経て昭和49年4月名城大学教授、昭和51年9月名城大学理工学部電気工学科長、昭和56年6月名城大学大学院工学研究科主任教授・工学研究科長、昭和60年10月中華人民共和国招聘教授(短期就任)、昭和63年6月名城大学教務部長、平成7年4月名城大学附属高等学校校長を歴任し、平成14年3月名城大学を定年にて退職されるまで、電気電子工学の教育・研究や教育行政に努め、平成14年4月に名城大学名誉教授になられ今日に至っています。

電気電子工学の教育・研究においては、名城大学の学部教育として、電気磁気学、電気材料、高電圧工学および率業研究・ゼミナールの指導を分担し、大学院工学研究科(現理工学研究科)の研究指導教授として誘電体工学特殊研究を担当し、多くの人材を教育指導し送りだしています。その多くは、教育界および産業界の指導的立場として、また、中堅技術者として広く活躍している。

先生の研究領域は、電気エネルギー工学の高電圧絶縁工学の分野に該当し、その主要題目は、電気機器の寿命を律則する「高分子絶縁材料のトリリーング(樹枝状)劣化と破壊現象」に関する研究である。先生は、この研究分野のパイオニアとして評価されており、電気機器や電力の絶縁組織として高分子材料が応用され

るに従い、機器の寿命特性を律則する調査研究が要望され、電気学会の技術委員会に絶縁材料トリーイング調査専門委員会が設置され、その後、耐トリーイング性、トリー試験法、と委員会組織は変遷したが、いずれも中心メンバーとして活躍している。

名城大学における教育行政に関して先生は、昭和51年電気工学科長に就任するや工学系教員の懸案であつた、大学院工学研究科の設立を企画し、学部長を補佐してその設置に尽力し多大の貢献をしている。

大学院工学研究科設置後は、工学研究科主任教授および研究科長に就任するや、研究の産学協同を推進し研究の高度化を諮っている。

昭和63年名城大学教務部長に就任するや学長を補佐し、①各学部の教育と研究の高度化を諮る、②大学の大細化を推進、③大学院理工学研究科博士課程の設置、④都市情報学部の新設、等に尽力した。

また、名城大学附属高等学校の学校長に併任されるや、名城大学開学70周年記念事業として、都市型校舎の建設を企画しその施設と環境に対応すべく、①普通課程の男女共学制、②職業課程を総合学科に改組、③教員の資質向上を目的に大学院への留学制度等の推進を行っている。

以上のように、先生は名城大学の教育・研究はもちろん我が国のみならず、国際的にも電気電子工学なかんずく電気エネルギー工学の発展に尽くしたものであり、その功績は誠に顕著

である。(推薦書一部抜粋)

最後になりましたが、私が学科長在任中に最も大切にしてきたことは、「電気会」と電気電子工学科との連携を密にするということでした。毎月開催された役員会にはできる限り出席させていただきました。会長を始めとして役員の方々には大変にお世話になりました。厚く御礼申し上げます。そうした中で生まれた、電気会主催・電気電子工学科共催の卒業祝賀会は大成功の一例であります。電気会が中心となって学科と連携を取りながら、OBと教員が一体となって卒業生(新入会員)をお祝いするという理想的な形ができあがりました。卒業生の出席率はほぼ100%です。他学科の先生方からも是非参考にしたいとの声も聞きます。今後ともどうぞよろしくご厚意申し上げます。

電気会会員の皆様の社会での一層のご活躍と電気会の今後の一層のご発展をお祈りするとともに、今後とも、電気電子工学科発展のために、よろしくご配慮を賜りますよう、心からお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

MIKA 先進のアルマイト技術で
アルミ表面処理の次代を開く

株式会社 中部理化

本社工場 愛知郡東郷町大字諸輪字北山八〇番の九

電話代表 (0561)39-0555

F A X (0561)38-3188

URL : <http://www.chuburika.co.jp>

E-Mail : info@chuburika.co.jp

人に、街に、地球に
快適な環境を

TOENEC

電気設備

情報通信

空調管設備

住宅関連事業

エコソリューション

快適づくりのプロフェッショナル

株式会社 トーエネック

本店 / 名古屋市中区栄1-20-31 TEL: 052-221-1111
東京本部 / 東京都豊島区巣鴨1-3-11 TEL: 03-5395-7111
大阪本部 / 大阪府大阪市淀川区新北野3-8-2 TEL: 06-6305-2181
支店 / 名古屋・岡崎・静岡・三重・岐阜・長野

中部電力グループ

名城大学電気会のホームページ開設について

電気会の皆様は、校友会会報55号で既にご存じのことと思いますが、昨年5月に、理工同窓会のホームページの開設に合わせて電気会のホームページも開設いたしました。これも関係者の皆様のご尽力の賜物であると感謝しております。

電気会の活動を皆様にお伝えする手段として、今までは電気会の会誌にて行っておりました。しかし、電気会の会誌は、予算の関係上、隔年毎に発行することになり、楽しい情報を皆様に早くお伝えすることが困難な状況となっていました。ホームページの開設によりこの点が改善され、より一層電気会の活動状況を素早く皆様にご報告できると思います。

ホームページは、会誌のように紙面の制約が少ないので行事の写真を多く掲載することができます。よって、今まで以上に活動状況やその場の雰囲気をお伝えできると期待しています。また、行事に参加された方には、参加した時の思い出が残るアルバムのような存在になるのではないかと期待しています。

このホームページを通して、今後益々電気会の活動状況、役員・幹事会や総会等の決定事項、大学情報等のホットな情報を皆様に発信したいと思っています。皆様からの貴重なご意見、ホットなトピックス、情報等がありましたら、是非電気会へご連絡願います。まだまだ開設して間もない状況であり、うまく運用できていないかもしれませんが、今後ともホームページを有効に活用して電気会を盛り上げて行きたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

電気会のホームページアドレスは以下の通りで

す。一度ご覧ください。

<http://www.meijo-rikou-dousoukai.jp/denkikai/index.html>

皆様も行事に参加され、ホームページに楽しい思い出を残しましょう。

<理工同窓会・各科同窓会・技術士会のホームページアドレス一覧表>

理工同窓会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/
数学会	http://math.meijo-u.ac.jp/sugakukai/
情報会	http://www.meijo-johokai.org/
電気会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/denkikai/
材料会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/zaiyoukai/top.html
機械会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kikaikai/
交通機械会	http://www.geocities.jp/traffic_ob_meijo_u/
土木会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/dobokukai/
環境会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kankyokai/kan_gyoijyotei.html
建築同窓会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kentiku/
技術士会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/gijutusikai/



名城大学電気会50周年記念行事について

名城大学電気会は昭和37年9月13日に発足され、平成24年で50周年を迎えることとなります。このように長年継続して活動できたことは、諸先輩方のご尽力、そして電気会の皆様のご協力によるものと深く感謝いたしております。

この節目に、電気会では記念行事を開催したいと考えています。日程は、平成25年1月を予定しており、実行委員会を立ち上げてこれから計画を進めてまいります。特に、行事の目玉として、記

念誌の作成を検討する予定です。皆様の中で、昔の懐かしい写真などがございましたら、名城大学電気会事務局までお送りいただければ助かります。

<名城大学電気会事務局>

〒468-8502

名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地
名城大学理工学部 電気電子工学科内
電話 (052) 832-1151



新任ご挨拶

電気電子工学科教授 児玉哲司

このたび名城大学理工学部電気電子工学科教授に
選任され、去る平成21年4月1日付をもちまして就任
いたしました。ここに謹んでご報告申し上げます。

私の興味は学生時代、ロボットにありました。しか
し、ロボットは機械工学、電子工学をはじめ、情報工
学、制御工学、電気工学などの非常に多くの専門分野
から成り立っていると、名古屋大学工学部電子機械工
学科在学中にわかるようになり、その後は、結晶材料
工学、量子物理学、電子工学、情報工学と幾つかの専
門分野の教育研究に携わってきました。その中で、博
士課程修了の後、量子力学の世界における第一人者で
ある日立製作所基礎研究所の外村彰博士のもとでは、
電子顕微鏡や量子力学についての知識と、優れた科学
研究の管理方法、研究方法、情報の伝達法などの経験
が得られました。そして名古屋大学工学部電子情報
学科助手を経た後、三重大学工学部情報工学科におい
ては、情報システムのハードウェア、ソフトウェアの
設計、開発、応用などの研究に取り組んでいました。
また三重大学総合情報処理センターにおいては、キャン
パスネットワークの構築、管理から教育研究システム
の企画、導入を担当するなど、情報システムの構築、

運用についても多くの経験をもっています。

これらの幾つかの専門分野や共同教育研究施設に
おける私の経験が、電気電子工学科における教育研究
の発展に貢献できるものと考えております。特に高
校での数学・物理離れや工学系志願者の減少といった
問題が指摘されているので、私の最も得意とするディ
ジタル信号処理システムなどのシステム開発の経験
を生かし、教育にあたっては、実際に手を動かして修
理したり、実験などを通じて感動したりする実体験を
重視することで、ものづくりの楽しさや素晴らしさを
学生に伝えたいと思います。また研究にあたっては、
関連する専門分野においての深い知識、すなわちその
分野において現在何ができるか、何ができないかなど
を学生に教えたいと思います。そして与えられた問
題を解決できるだけでなく、研究すべき問題を正しく
設定できるような人材を育てたいと思っています。
またこれまでのような企業との共同研究を通じて地
域貢献できればと考えています。

はなはだ微力ではございますが、名城大学の発展に
全力をつくす所存でございます。何とぞ、前任者同様
のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新任ご挨拶

電気電子工学科教授 伊藤昌文

平成21年4月より、電気電子工学科教授として採用
していただきました伊藤昌文と申します。専門は、光
計測とプラズマエレクトロニクスで、近年はそれらの
バイオ応用に関する研究を行っております。

出身は、桑名で名古屋大学工学部電子機械工学科の
1期生として卒業しました。卒業後、修士、博士と進
み、同大学の電気情報工学科の助手、量子工学専攻の
講師を務め、1999年度に和歌山大学システム工学部に
赴任し、同大学の助教授、教授を経て、ご縁があって
10年ぶりに名古屋に戻ってまいりました。

名古屋大学の助手時代から、LSI製造などで多く用
いられるプラズマプロセスのレーザ分光などの研究
を行っていたことから、プロセスモニタ用の光源の開
発や基板温度・膜厚・表面反応モニタリングシステム
の開発研究を進めております。また、近年注目されて
いる小型な低温プラズマの殺菌応用などバイオ関連
に関する研究も進めております。このバイオ関連の
研究は、平成21年度から5年計画で、文科省の新学術

領域研究の研究班代表としての研究が始まっており、
学生にとって充実した研究教育環境を整えていき
たいと考えております。

教育面では、回路理論2と電気計測を学部では担当
しております。大学院は、光波電子工学を学部では担
当しており、レーザ、光デバイス等の講義を大学院で
担当しております。回路理論2の内容は、JABEEプ
ログラムに基づき、他大学と比べてもかなり濃い内容
を教育されており、1学年を4クラスに分割して、3
回の中間試験と定期試験と国立大学よりきめ細かい
教育が実施されていることに驚きましたが、他の先生
のご協力のもと何とか職務を遂行できたと考えてお
ります。

来年度からは教務委員を仰せつかりましたので、学
生、社会にとってさらにより電気電子工学科、名城大
学とするため、全力で頑張る所存です。電気会の
皆様のご支援・ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

第16回名城大学電気会新春懇談会開催

日時	平成22年1月16日(土) 17時～20時
場所	名古屋ガーデンパレス
内容	①ミニ講演会 5F梅の間 講師：児玉哲司様 名城大学理工学部電気電子工学科 教授 題目：「電子計数技術とその応用」 ②パーティー 2F桜の間 参加者 74名(一般：34名 来賓：10名) 役員：20名 大学院生：2名 教員：8名

新春懇談会も皆様のご尽力ご協力のもと第16回を迎えることになりました。この行事は、電気会の行事の中で最も参加者が多く、皆様の期待も大変高いのではないかと思います。開催場所は皆様からのご意見等を検討し、交通の便がよいこと、また2次会を行う場合に都合がよいことなどの理由から、昨年度に引続いて名古屋ガーデンパレスといたしました。目標としていた70名以上の参加者を超え、大変盛大に開催できたことにつき、役員一同深く感謝しております。

電気会の若年層の活性化、また、電気会を永年継続していくために、昨年度と同様に、新規会員の参加費を半額にしています。この結果、今年の新規会員の参加は6名となり大変喜んでおります。大学の先生ならびに役員のご尽力によるものと感謝いたします。また、大学院生の2年生については参加費を無料として全員参加して頂くように企画しましたが、修士論文発表の準備等で忙しく、2名の参加にとどまりました。現在の大学院生は、1、2年全員で22名です。半分の10名程度はご参加いただけるように努力したいと思っています。このように若年層に積極的に働きかけ、参加者は徐々に増えています。この中から幹事役として電気会に参加していただき、電気会を盛り上げて頂ければ誠に有難いと思います。

今回のミニ講演会は、昨年4月に名城大学電気電子工学科教授に就任された児玉哲司先生に講師お願いしました。「電子計数技術とその応用」という題目でパワーポイントにて興味深いお話をさせて頂きました。

講演内容は、電子顕微鏡に関する研究内容でしたが、電子の計数技術の基本からわかりやすく説明をいただきました。信号処理の高速化と相まって短時間での計測が可能となり、その技術を応用した電子顕微鏡の性能は飛躍的に向上しているようです。先生は、さらなる性能向上を目指し、10nsオーダーの現象の観測を実現しようと努力されています。実現

されれば、カーボンナノチューブ等の研究に大きく貢献することになると思います。詳細内容は、当時発表されたパワーポイントをホームページで紹介いたしますので、興味がある方はご覧下さい。

パーティーでは電気会会長の挨拶から始まり、下山学長、林校友会会長のお祝いの挨拶を頂きました。また、電気会の皆様一同大変お世話になった縄田先生が秋の叙勲を受賞されましたので、大江学科長からその功績紹介とともにお祝いの挨拶を頂き、縄田先生からはお礼の挨拶を頂きました。電気会からは縄田先生にお祝い金をお渡ししています。その後、清水理工同窓会会長に乾杯を行って頂きました。歓談後には、安藤理工学部長のお祝いの挨拶、理工同窓会の各学科同窓会長より自己紹介と挨拶、参加された教員の皆様に自己紹介ならびに研究内容を発表して頂きました。

また、最後には、昨年の卒業生、大学院生と電気会役員が壇上に上り、名城大学の応援歌を斉唱し大変盛り上がりしました。1年振りに、または何年振りかの再会でなつかしい学生生活を思い出してなごやかに歓談を行いました。

名城大学の卒業生は官界、産業界で幅広く活躍されており、この日は大いに飲んで色々な情報や興味深いお話をお互いに提供していただき大変有意義な会となりました。

当日の和やかな、楽しい状況の写真をホームページにて紹介致しますので、ぜひ名城大学理工同窓会電気会のホームページをご覧下さい。

今回は平成23年1月22日(土)の17時から今年度と同じ名古屋ガーデンパレスで開催されますので多くの皆様にご参加いただけますようご案内申し上げます。

電気会のホームページ：

<http://meijo-rikou-dousoukai.jp/denkikai/index.html>



第17回 名城大学電気会新春懇談会のご案内

毎年恒例の新春懇談会を下記日時で開催を致します。

本年も会を盛り上げて参りたいと存じますので、ぜひ同窓の皆様をお誘いのうえ、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

日時：平成23年1月22日(土) 17時～20時まで

場所：名古屋 栄 名古屋ガーデンパレス
会費：8000円(受付にて拝受 電気会より一部負担)
内容：第1部 ミニ講演会 17時～17時45分
講師：未定
第2部 パーティー 17時45分～20時
進行は別途式次第による

研究室対抗ソフトボール大会

昨年は若いOBの多数参加ありがとう！ 今年もよろしく！

日 時：平成21年 9月5日(土) 8時30分より

場 所：名城大学 サッカーグラウンド

昨年の研究室対抗ソフトボール大会は、天候に恵まれ、まだまだ暑さが残るものの運動をするには絶好の日でした。また、グラウンドも人口芝に変わり、競技しやすい環境が整っていました。

さて、OB諸君にはお忙しい中、多数の方に参加して頂き誠にありがたく感謝しております。昨年は、真野国弘様(シーテック)のお誘いで、辰野研究室出身の若い参加者が多く集まり、強力なOBチームとなりました。守備は若い方で、打撃は全員で戦いました。

試合結果については、まず1回戦は頑張りましたが、3-5で林研究室に負けてしまいました。しかし、午後からの敗者復活戦の1回戦では、途中、7-9で負けていましたが、最終回に粘りとホームランで3点を追加して10-9のさよなら勝ちとなり、相手チームは大変悔しがっていました。敗者復活の優勝戦では、4-10で辰野研究室と全員で頑張りましたが負けました。

夕方の17時から、名城大学レストランにて懇親会が催されました。若いOBの参加者は、辰野先生を囲み懐かしい思い出話に盛り上がっていました。電気会からはその場をお借りし、学生の皆様に対して、電気会からソフトボール大会への援助について、また卒業証書授与式の後で電気会と共催で卒業祝賀会をグラン亭で開催することなどをお知らせし、卒業後の電気会会員へ入会、電気会のホームページを上げたので一度は見てほしいこと、次回のソフトボール大会へのOBチームとしての参加、などをお願いしました。

参加メンバー(敬称略)は、競技18名(内2名応援、

大江先生除く)、懇親会11名であり、以下の方々でした。

水谷恵吾・阪野紘史・古川昇・野口健二・出口太郎・佐治秀剛・山下祐太(名古屋電機工業)・太田裕一郎(中部理化)・福島元彦(ミユキエレクト)・真野国弘(シーテック)・本間大介・山田浩司・高橋朗紀(豊田紡織)・久田啓太(MAKITA)・早川昌吾(ASMO)・間瀬木健二(アイシンAW)・中野雅仁(三菱重工)・三枝克誠(中央発條)・開米和明・松野一彦・伊藤栄(役員)

昨年は、例年になく若い参加者が多数集まり活気あふれる大会となりました。次回の大会にも是非多数の方に参加頂きますように重ねてお願い申し上げます。参加されたい方は名城大学電気会または電気会役員(知り合い、先輩)へ連絡をお願いします。

<名城大学電気会事務局>

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地

名城大学理工学部 電気電子工学科内

電話 (052) 832-1151



お客様と社会と社員に選ばれる企業を目指して！
X線装置のことなら当社にお任せください。

株式会社 中部メディカル

〒510-8015 四日市市松原町33番5号
TEL 059(365)7248(代) FAX 059(364)9294
代表取締役 落合 穰(大IH1年卒)

構内有線無線通信装置及びテレビ装置

大藤電設株式会社 大藤エンジニアリング株式会社

〒464-0850 名古屋市千種区今池一丁目25番10号
TEL 052(741)3871(代) FAX 052(733)3361
代表取締役 藤田 実(専I25年卒)

情報表示システムで、快適な社会環境をバックアップ



名古屋電機工業株式会社

本社 〒454-0021 名古屋市中川区横堀町1-36 TEL 052-361-1211(代)

URL: <http://www.nagoya-denki.co.jp/> E-Mail: info@nagoya-denki.co.jp

平成21年度卒業式 電気会よりお祝い

＜卒業証書授与式＞

日時：平成22年3月19日（金） 13時～15時

場所：名城大学共通講義棟 S102室

＜卒業祝賀パーティー＞

日時：平成22年3月19日（金） 16時～18時

場所：名城大学6号館1階 グラン亭

名城大学全体の卒業式が愛知県体育館で行われた後、名城大学共通講義棟のS102室で電気電子工学科の卒業証書授与式が盛大に行われました。今年の卒業生は140名でした。

はじめに、大江俊美学科長からお祝いの言葉が贈られました。親・家族、お世話になった恩師（ゼミナールの先生）への感謝の気持ちの大切さ、社会に出ることの厳しさや職場での心構えなどについてお話をされました。特に、職場での心構えでは、組織や集団における人のタイプについてお話があり、「組織の中で、人は①必要な人、②居てもいなくてもどちらでも良い人、③居てはいけない人の3種のタイプに分かれる。皆様には努力を惜しまず是非「必要な人」になって頂きたい」と熱心にお話をされました。

次に、伊藤電気会会長からお祝いの言葉が贈られました。会社での経験談、職場での心構え、電気会への支援・参加のお願い、などについてお話をされました。電気会への参加では、特に、電気会活性化の有効な行事として位置付けている新春懇談会への参加を強くお願いされました。新春懇談会は、若い参加者を増やして活性化を図るため、昨年度から入会初年度のみ会費を半額に、また、大学院生は、会費を無料にしています。

祝辞が終わり、学科長から卒業証書を卒業生全員に手渡されました。また、平成22年2月19日～20日の卒業研究発表および平成21年2月20日の大学院生修了研究発表で優秀な成績を収められた方々に、表彰状の授与が行われました。受賞者には、電気会からお祝いとして図書券5,000円をお渡ししました。

最後に、電気会からお祝いとしてワールドクロック1点を卒業生全員にプレゼントしました。

今年は、大変有難いことに、先生方のご協力によって卒業生のほぼ全員に電気会へ入会していただきました。心より感謝しております。

卒業証書授与式の後には、場所を名城大学6号館1階グラン亭へ移して卒業祝賀パーティーが行われました。先生方や卒業生の皆様、電気会からは

役員10名以上が参加しました。

電気会副会長の松野様が司会を行い、学科長、電気会会長が順に挨拶を行いました。そして、今年度退職される河村一先生と米澤先生からは、これまでに苦勞された経験談や楽しかった名城大学での思い出をお話して頂きました。電気会からは、退職のお祝い金とお花をお贈りしています。

次に、教員の代表として次期学科長とされる多和田先生と、OB代表として副会長の開米様の挨拶があり、乾杯は、電気電子工学科教授の河村英昭先生に行って頂きました。

会の途中では、卒業生代表と修士修了生代表の挨拶がありました。また、研究室毎に壇上上がり、ご担当の先生からの研究室の紹介並びその記念撮影が行われました。

最後に名城節を全員で斉唱し、参加者全員の記念撮影を行いました。大変思い出に残る、楽しいパーティになり、大学と電気会との絆がより一層深められたと感激しています。卒業生の皆様には、これから社会で大いに活躍されることを期待いたします。

当日は、写真撮影を行いましたので、後日、名城大学電気会のホームページに掲載する予定です。当日参加された皆様および関心のある方は、是非ホームページをご覧ください。

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。



平成20年度 論文優秀賞・受賞学生

小田 達郎	学部	各種PVモジュールの発電特性
山下 寛明	学部	Optical Computed Tomographyを用いた断面像の測定
本居 武典	学部	ロボットアームの力制御及び環境体の剛性推定
猪飼 駿介	学部	実験計画法の分散分析からみたCO2アークの遮断特性
石原 慎也	学部	テレビ電波を用いた測位システムの検討
山川 新太	学部	光触媒による合成洗剤の分解
岩田 淳	修士	オプティカルフローによるLEEM/PEEM装置の光軸調整アシストシステムの開発
村上 育彦	修士	光応答性アゾポリマー表面での微粒子の配列に関する研究

平成21年度 論文優秀賞・受賞学生

辻 琢矢	学部	リードソロモン復号の誤り訂正可否情報を用いたビタビ復号アルゴリズムの改善
東 智行	学部	交流出力を使ったPVシステムの診断法
川上 修平	学部	水分を含んだシリコンゴムの電気トリー発生
細野 賀裕	学部	Epoxy/Silicaナノコンポジット材料における電界発光現象
村井 善昌	学部	光音響分光法を用いた水分測定装置の小型化
千原 昇悟	学部	状態遷移マトリクスを用いた降雨時の衛星稼働率評価と周波数ダイバーシティへの応用に関する研究
渡辺 均	修士	大気圧プラズマCVD法を用いたカーボンナノ構造体の作成
岩田 健一	修士	地上デジタル放送におけるキャリア間干渉除去法の検討

平成21年度事業報告

(期間 平成21年4月1日～平成22年3月31日)

- 第43回 電気会総会、理工同窓会総会
平成21年6月21日(日) 午前9時30分～14時30分
電気会総会 名城大学 12号棟 302室 理工同窓会総会 名城大学 12号棟 301室
理工同窓会講演会 名城大学 12号棟 301室 理工同窓会懇親会 タワー75 15階レセプション
- 研究室対向ソフトボール大会支援とOBチーム参加
平成21年9月5日(土) 参加者18名
- 第16回電気会新春懇談会
平成22年1月16日 名古屋ガーデンパレス 17時～20時
ミニ講演会 講師 名城大学 電気電子工学科教授 児玉哲司先生
縄田先生 秋の叙勲お祝い
参加者 74名
- 電気電子工学科 卒業式(卒業証書授与式)・卒業祝賀会
平成22年3月19日 卒業証書授与式 名城大学 S201 13時～15時 卒業祝賀会 名城大学 グラン亭 16時～18時
出席者 伊藤、開米、松野、渡辺、山崎、藤田、岩室、竹中 8名
- 役員会、評議委員会開催 1回/月
役員会 7月31日、9月16日、11月18日、12月22日、2月20日(4月24日)
評議委員会 (5月15日)
- 卒業研究発表と電気会から聴講 平成22年2月19日～20日
2月19日 電気会 山崎 2月20日 電気会 山崎、開米、岩室、神田、伊藤栄
- 名城大学電気会ホームページの立上げ(平成21年6月公開)
電気会: <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/denkikai/>
理工同窓会: <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/>の学科同窓会からリンク。

平成22年度事業計画(案)

(期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日)

- 新入会員および学生への援助
平成22年度に卒業される方は、電気会の会員となる。就職説明会への講師派遣等
- 企業への求人活動
OB企業、今まで支援企業の優先求人活動を計画する。
- その他一般行事
・第44回電気会総会:平成22年6月20日(日)
・第17回電気会新春懇談会の開催:平成23年1月22日(土)
場所:名古屋 栄 名古屋ガーデンパレス 16時30分より受付:第1部 ミニ講演会 17時～17時45分
第2部 パーティー 17時45分～20時
・研究室対抗ソフトボール大会支援とOBチーム参加:平成21年9月に予定
・卒業式(卒業証書授与式)への参加
・卒業祝賀会電気電子工学科との共催
- 電気会ホームページ(21年度作成)の記載内容更新
電気会会誌に関する費用(印刷代、郵送代 7,000名分)を削減するためにホームページが見えなくて郵送を要望する方のみに削減したい。
トビックスがあれば、ホームページに記載しますのでご連絡願います。

平成21年度名城大学電気会会計報告
(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

Table with 3 columns: 項目, 予算, 決算. Rows include 収入の部 (前年度繰越金, 新入会員会費, etc.) and 支出の部 (会議費, 学生会員援助費, etc.).

※1: 理工同窓会交付金 412,400円
※2: 年度内収入 1,876,273円

Table with 3 columns: 項目, 予算, 決算. Rows include 支出の部 (会議費, 学生会員援助費, etc.) and 次年度繰越金.

平成22年度名城大学電気会会計予算案
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

Table with 2 columns: 項目, 予算. Rows include 収入の部 (前年度繰越金, 新入会員会費, etc.) and 支出の部 (会議費, 学生会員援助費, etc.).

支出の部 (単位: 円)

Table with 2 columns: 項目, 予算. Rows include 会議費, 学生会員援助費, 新入会員援助費, etc.

評議委員会の議を経て予備費を他の項目に流用できる

平成22-23年度電気会評議員(案)

Table with 3 columns: 氏名, 卒年. Lists names and graduation years of proposed members, including 橋本善造, 永治次男, etc.

会計監査報告

諸帳簿の記載、現金、貯金等の額に誤りの無いことを確認した。
会計の運用は全面的に良好であることを認める。
以上の結果、本会の財産管理は適正であることを認める。
平成22年4月24日

会計監査人 田中 祥弘 印
水野 光雄 印

平成22-23年度名城大学電気会役員(案) *印改選

Table with 6 columns: 役員, 氏名, 卒年, 役員, 氏名, 卒年. Lists officers and their details, including 名誉会長, 会長, 副会長, etc.